

2009年度行事報告

【総会】=====

日 時：2009年7月18日（土）
場 所：佐倉城址公園
参加者数：63名

総会が佐倉城址公園で行われました。事務局より20年度会計報告と21年度世話人と行事予定の提案がありました承されました。

【第55回観察会】=====

日 時：2009年7月18日（土）
場 所：佐倉城址公園
講 師：吹春 俊光
参加者数：63名
採集数：34種（不明種を含む）

千葉県は乾燥ぎみで、きのこを見つけるのは容易なことではありませんでした。60数名の会員が目を皿のようにして探しても…。今回、愛知県の西尾きのこの会会長の中條長昭さんから貴重なミカワクロアミアシグチを持参していただきました。中條さんはミカワクロアミアシグチの発見者で、このきのこはイグチ科の中でも数少ない猛毒菌のひとつとお聞きしました。ありがとうございました。

観察記録(50音順)

アイゾメクロイグチ、アセタケ属、アミスギタケ、イロガワリ、ウチワタケ、オオツルタケ、オキナクサハツ、オニイグチ属、オニタケ、オリーブサカズキタケ、カンゾウタケ、キチャハツ、クサハ

ツ、クヌギタケ属、クモタケ、クリイロイグチ、クロラップタケ、ケショウハツ、スジウチワタケ、センペイタケ、タマゴテングタケモドキ、チリメンタケ、ツチグリ、ツヤウチワタケ、ツルタケ、トキイロヒラタケ、ナヨタケ属、ニセショウロ属、ヌメリツバタケ、ノウタケ、ヒトヨタケ属、フクロツルタケ、ベニヒダタケ、マメザヤタケ

【第56回観察会】=====

日 時：2009年9月27日（日）
場 所：泉自然公園
講 師：吹春 俊光
参加者数：57名
採集数：82種（不明種を含む）

今年はダメだ、と会員の口から思わず出てしまうほど不作の年でした。泉自然公園も森の中を歩いてもなかなか見つかりませんでした。それでもビオトープ周辺の水辺に行くとたくさんきのこが！嬉しくなりました。同定会場に戻ってみれば、80種以上のきのこ達が並べられたのでした。中に千葉県で初めての採集記録となった、ヒョウモンウラベニガサや不明のテングタケも含まれていました。この日、生物多様性の研究をしているカナダのAlisonさんが参加されました。日本の樹木について質問されましたが、英語で名前を答えられないのが残念でした。おしゃれな若い男女も何組か珍しく参加してくれました。かなり新鮮な体験だったみたいです。最近、若

い人達にも人気があるのでしょうか？きのこ。

観察記録(50音順)

アカチャツエタケ, アシグロタケ, アセタケ属, アミヒラタケ, アンズタケ属(小), アンズタケ属(大), イボテングタケ, イロガワリ, ウラベニガサ?, ウラベニホテイシメジ, ウラムラサキシメジ, オオツルタケ, オニタケ, カノシタ, カワラタケ, カワリハツ, ガンタケ, 黄色の地下生菌, キシメジ?, キシヨウゲンジ, キチチタケの仲間(大量), キチャハツ, キツネタケ属, キヒダマツシメジ, クサイロアカネタケ?, クサウラベニタケ, クサウラベニタケ類似種, クサハツ, クロアシボソノポリリュウタケ, クロキツネタケ, クロノポリリュウタケ, クロハツ, クロハツモドキ, クロラッパタケ, コテングタケモドキ, コバヤシアセタケ, コフキサルノコシカケ, サマツモドキ, シロタマゴテングタケ, シロトマヤタケ or シロニセトマヤタケ, シロスメリイグチ, スギエダタケ, スッポンタケ, スミゾメヤマイグチ, タマゴタケ, タマゴテングタケモドキ(ヒダがピンク色), チシオタケ, チャワソウタケ(アケビの実に出る), ツエタケ, ツクツクボウシタケ, ツチグリ, ツチナメコ, ツルタケダマシ, テングタケ, テングツルタケ, ドクツルタケ, トビチャチチタケ, ニオイコベニタケ, ニガクリタケ, ニセシヨウロ属, ヌメリカラカサタケ属, ハイイロイタチタケ, ハイカグラテングタケ?, ハタケシメジ, ハナビラニカワタケ, ヒメカバイロタケ, ヒヨウモンウラベニガサ(千葉県初記録), ビロードクリイロイグチ, ヒロハウスズミチチタケ?, ヒロハシデチチタケ, フクロツルタケ, フタイロシメジ, ベニヒダタケ, ホオベニシロアシイグチ, ボーベリア属, ホコリタケ属, マンネンタケ, ミドリシギタケ?, ミヤマザラミノヒトヨタケ, ミヤマタマゴタケ?(白色, ツボが2重, 溝線有), ヤグラタケ, ワカフサタケ属

【第57回観察会】=====

日 時：2009年10月18日(日)
場 所：市原市民の森
講 師：吹春 俊光
参加者数：70名
採集数：63種(不明種を含む)

2009年度最後の観察会ですが、きのこは不作の年で大型きのこは少ないようでした。公園管理の方の話では、今年は早い時期に1回出た後はぱったりと出なくなったそうです。それでも皆さん頑張って、数多くのきのこが同定会場に並びました。今回も長靴ならぬブーツを履いた、ファッショナブルな若者達が参加してくれました。きのこ界に新風が吹き始めたかも。

観察記録(50音順)

アイコウヤクタケ, アオゾメタケ, アセタケ属 2種, アラゲキクラゲ, イヌセンボンタケ, イロガワリヤマイグチ, ウスヒラタケ, ウラベニホテイシメジ, オオホウライタケ?, カイガラタケ, カキシメジ, カノシタ, カバイロツルタケ, カブラマツタケ, カラカサタケ, カワラタケ, キシメジ属, キチチタケ, クサウラベニタケ, クヌギタケ属, クロコブタケ属, コフキサルノコシカケ, サクラシメジ, サクラタケ, ザラエノハラタケ, シロハツ, シロハツモドキ, スギエダタケ, スギタケ, タマシロオニタケ, チチアワタケ, ツチグリ, ツチナメコ, ツルタケダマシ, ナヨタケ属, ニオイキシメジ, ニガクリタケ, ヌメリイグチ, ヌメリガサ属, ヌメリササタケ, ノウタケ, ハタケシメジ, ハラタケ属, バカマツタケ, ヒメキシメジ, ビヨウタケの仲間, ヒヨウモンクロシメジ, フウセンタケ属 3種, ベニタケ属, ベニチャワソウタケモドキ, ホウキタケ属, ホコリタケ属 2種, ホンシメジ, マメザヤタケ属, ミネシメジ, ミヤマザラミノヒトヨタケ, ムラサキシメジ, モリノカレバタケ属, ワカフサタケ属

【第 53 回日本菌学会参加】 =====

日 時：2009 年 8 月 19 日(水)～21 日(金)
場 所：鳥取大学

2009 年 8 月 19 日～21 日に鳥取大学で開催された「日本菌学会第 53 回鳥取大会」のアマチュアの会有志によるコーナー「アマチュア研究者の取り組み(2009 年)」へ千葉菌類談話会もアマチュアきのこの会として参加し、談話会の紹介ポスターおよび会報の展示と絵葉書の販売などを行いました。

【第 18 回スライド会】 =====

日 時：2010 年 1 月 23 日(土)
場 所：千葉県立中央博物館講堂
参加者数：47 名

スライド発表(50 音順)

Alison Fischer:北米カナダのきのここと生物多様性

伊豆 明雄:2009 年に採集したきのこ

大久保 泰和:テングタケの仲間(奈良県周辺)

今野 英山:韓国松茸山騒動記

三休さん:Kinocon Ball Kai

須賀 良行:2009 年のきのこ

鶴田 小百合:毒キノコの DNA 鑑別法の開発

中川 廣子:カナダとノルウェーで見たきのこ

西田 誠之:深山のきのこ、高原のきのこ

松田 弘義:今年千葉でみつけた野生きのこ

宮林 八男:千葉県内でみつけた 2008 年と 2009 年のきのこ

山本 充弘:名前を教えて欲しい不明のきのこあれこれ

ハンドベルサークル「すずらん」による演奏

曲目「心の友」「ふるさと」「時代」「キセキ」

今年は海外のきのこを題材にしたものも複数あり、泉自然公園の観察会にも参加された Alison さんも発表するなど、国際色豊かなスライド大会となりました。

ハンドベルサークル「すずらん」の清らかな演奏は、良い一年の始まりを運んでくれたのではないのでしょうか。また来年もよろしくお祈りします。

きのこグッズ展示コーナーより

今年も数々の出品に感謝いたします。とくに今回は手作りが半分以上を占め、会員のきのこに対する情熱が強く伝わってきました。以下に展示品の紹介をいたします。

<写真> ※スナップ写真はこちらで展示しますので、ふるってご参加ください。

「茸の猿団子」5 枚組、「キレイダナとおもうきのこ—Amanita」

<書籍・資料等>

- ・「ヤマドリタケモドキの発生と気象」2007～2009 気温・雨量の関係グラフ
- ・大竹茂夫展の作品図録とパンフレット、絵葉書

<その他の展示品>

陶器製キヌガサタケのランプシェード 2 点、転写による T シャツと Polo シャツ、きのこ絵ローソク、きのこ浴衣生地のカッション、きのこ型加湿器、芳香剤、バッグアクセサリ、マグネット、きのこレシピ、きのこジュエリー、ハンカチ、膝掛け、フェーブ、セーター、竹べら、ユニット式採集鎌、採集生菌(ヒラタケ、ショウロ)

なお出品者名は割愛させていただきました。(このコーナーは会員の菊地栄子、大蔦和子が担当しました。)